

こんにちは 家畜保健衛生所です

平成25年11月

豚流行性下痢(PED)の発生について

沖縄県の農場において「豚流行性下痢」(届出伝染病)が発生しました。国内では平成18年に確認されて以来の発生となります。

これまでの国内流行株とは異なり、現在、アジア諸国および米国(18州・828件発生)で流行している株と近縁なものです。

<臨床症状>

哺乳豚は、食欲不振・元気消失に続く激しい嘔吐と下痢がみられます。脱水状態に陥り、新生豚では数日の経過で衰弱死し、死亡率はほぼ100%に達します。

母豚では下痢のほか、泌乳量の低下や泌乳の停止が起こり、哺乳豚の死亡の要因となります。

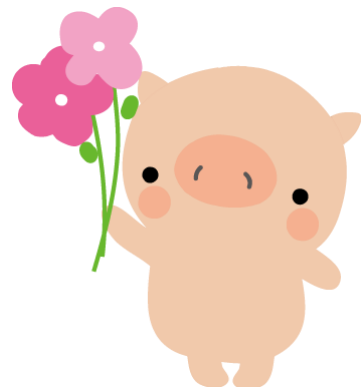
ウイルスは糞便中に排出され、経口または経鼻感染で伝播します。

<予防対策>

衛生管理の徹底、導入時の隔離観察などでウイルスの侵入を防ぐことが重要です。周囲で流行があれば、導入豚および分娩前の母豚にワクチンを接種して予防に努めましょう。

・飼養衛生管理基準の遵守を徹底し、病原体の農場への侵入を防止しましょう。

・豚流行性下痢を疑う症状が認められた場合は、直ちに家畜保健衛生所までご連絡お願い致します。



家畜保健衛生所業務第一課

〒639-1123 大和郡山市筒井町 600-3

TEL : 0743-59-1700 FAX : 0743-59-1740